

(様式2)

健やか食育プロジェクト事業報告書

健康福祉事務所名 伊 丹

1 食育推進体制の整備

食育推進課題	<p>現在の高齢化率は県平均と同レベルであるが、今後は高齢者数が増える見込みであり、低栄養予防・重症化予防に向けた食支援体制の充実が必要である。</p> <p>一方で、在宅高齢者を直接支援する関係者（市介護保険主管課、地域包括支援センター、介護専門職等。以下、介護支援者という）において、低栄養・重症化予防のための食支援の必要性が十分認識されているとはいえ、またその必要性を感じている場合でも、どのような手段があり、誰に相談して良いか分からないといった声がある。</p> <p>また、地域包括ケアシステムについて理解し、介護支援者に対し効果的な食支援について助言を行ない、また直接実践できる知識・技術を持った担い手（栄養士等）が不足している。</p>
今年度の推進方策	<p>高齢者への食支援をすすめるための連携体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none">・在宅介護支援者を通じて食支援に関するニーズ調査を行い、地域の高齢者の実態把握及び必要とされる食支援の明確化と今後必要な取り組みの検討を行う。・食支援の担い手と介護支援者との連携体制の構築
成果	<p>高齢者の食の課題、必要とされる食支援の内容、充実を目指すための課題が明らかとなった。具体的な方策を検討するまでには至らなかったが、会議及び実践活動を通じ、行政、在宅介護関係機関、介護専門職との連携体制の強化を図ることができた。</p>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none">・管内市町及び関係団体の取組みについて内容や成果の情報共有・食支援の担い手と介護支援者との連携体制の構築・高齢者本人、家族への啓発内容・方法の検討

2 会議の開催状況

実施日時	①令和元年9月3日（火）10:00～11:00、9月6日（金）15:30～16:30 ②令和元年9月26日（木）10:00～11:30 ③令和元年12月9日（月）14:30～17:00
参集者 (団体数 及び人数)	①行政（管内市町 介護保険担当課） 4団体6名 ②在宅介護医療連携支援センター、栄養ケアステーション 2団体3名 ③行政栄養士（管内市町 健康増進担当課） 3団体5名
協議内容	①③ 市町における低栄養予防の取組みについて ①②③ 食育実践活動の企画・実施調整・評価
今後の方策	<p>管内市町及び関係団体の取組みについて内容や成果を情報共有し、低栄養予防・食支援の効果的な実施に向けた支援を行う。</p>

※会議の議事録、参集者名簿を添付すること。

3 食育実践活動の結果

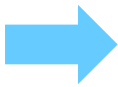
テーマ	在宅高齢者の栄養・食支援		
対象及び参加者数	①地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、訪問介護事業所 124事業所 ②病院・高齢者施設等の管理栄養士等 39名 ③川西市・猪名川町の在宅医療・介護関係者 58名 ④川西市・猪名川町の在宅医療・介護関係者 30名		
事業内容	日時・場所	内 容	講師・運営スタッフ
	令和元年 9月～11月	①高齢者の食支援に関する実態調査 ・在宅高齢者への食支援の提供状況 ・介護職の食支援への意識と実践状況 ・在宅高齢者への食支援を行う上での課題	健康福祉事務所
	令和元年 9月4日(木) 18:30～20:00 [キラ川西プラザ]	②高齢者の食支援ツールの作成・普及 ・説明「川西・猪名川食形態マップについて」 ・グループワーク(各施設の食形態についての情報交換、食形態マップの活用)	川西地区給食研究会 健康福祉事務所
	令和元年 12月5日(木) 15:00～16:30 [川西市立保健センター]	③在宅介護関係者への研修 テーマ「在宅高齢者の食支援とフレイル予防」 ・在宅高齢者の食の課題と地域の現状 ・在宅高齢者の食支援とフレイル予防	川西市・猪名川町 在宅医療・介護支援センター (医)協和会認定 栄養ケアステーション 健康福祉事務所
	令和2年 1月20日(月) 14:30～14:45 [川西市医療会館]	④高齢者の食支援ツールの普及 ・報告「食形態マップを中心としたツールの紹介並びに活用方法について」5	川西市医師会 健康福祉事務所
成 果	【成果】 <ul style="list-style-type: none"> ・実態調査及び研修を通じ、高齢者の食支援の課題について、在宅介護関係者及び関係機関と共有するとともに、食支援の重要性について意識付けをすることができた。 ・実態調査及び研修を通じ、市町担当課、在宅医療・介護連携支援センター及び認定栄養ケアステーション等関係者との連携体制の強化を図ることができた。 ・食形態マップ、栄養管理ファイル等ツールの普及を通じ、在宅介護関係者による食支援の実践に向けた体制整備が図られた。 【評価指標と目標値及び達成状況】 実態調査 [事業所] ・回収率 61.4% [介護支援専門員] ・食支援を実施している割合 91.8% ・食支援の実施した結果、効果があったと思う割合 89.0%		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・調査結果を基にした具体的な食支援充実のための取組みの検討 ・ヘルパー等介護職等への研修の実施 (特に今年度実施できなかった地域での実施) ・食形態マップの見直し、栄養管理ファイルと併せた活用促進 		

※プログラムや内容がわかる資料を抜粋し添付すること。

令和元年度 健やか食育プロジェクト事業

現状と課題

- ・高齢化率は県平均と同程度だが、今後の高齢者数の増加により、要介護者も増える見込み。
⇒ 低栄養予防・重症化予防に向けた食支援体制の充実が必要。
- ・高齢者のフレイルの状況、食生活の実態は把握できていない。
- ・高齢者への食支援について、実施状況、本人・家族・介護支援者が感じているニーズは把握できていない。
- ・介護支援者と食支援に対して専門的な助言を行う栄養士等との連携不足。



事業のねらい

高齢者への食支援に向けた連携体制の強化

【取組み①】 高齢者の食支援に係る実態調査

[実施時期] 令和元年9月末

[対象] 地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、訪問介護事業所
対象：202 事業所 回収数：124 事業所（回収率 61.4%）

[内容] ①在宅高齢者への食支援の提供状況及び要望
②介護職の食支援への意識と実践状況

*** 介護支援専門員に聞きました ***

Q.在宅高齢者と関わる中で食支援が必要だと思ったことはありますか？

Yes 95.9%

Q.その時、食支援を行いましたか？

Yes 91.8%

Q.食支援を行った効果はありましたか？

Yes 89.0%

(「効果があった」「やや効果があった」含む)

実施した食支援（抜粋）

- ◆配食サービス紹介 ◆ヘルパー導入
- ◆デイサービス導入 ◆家族への協力依頼
- ◆食事の内容や環境の整備
- ◆専門職との連携（医師、栄養士、看護師、歯科医師、ST等）

Q.在宅分野での栄養・食生活支援体制の充実を図るために必要な取組みは？

- ◆専門職による継続的な支援、訪問指導
- ◆相談体制の整備
- ◆配食サービスの改善
- ◆移動販売の充実
- ◆一緒に食べる機会の提供
- ◆本人家族への食事の大切さの周知
- ◆介護職、専門職の勉強会等の実施

【取組み②】 「川西・猪名川食形態マップ」の作成と普及

- ★病院・高齢者施設の食形態を共有するツールとして、川西地区給食研究会が作成
- ★石川県栄養士会「I スケール」を参考に嚥下調整食の基準表を作成
⇒川西市・猪名川町内の病院・高齢者施設の食形態を一覧表に整理

川西・猪名川食形態マップ〔各施設の食形態一覧〕

【副食】			病 院						
No.	嚥下学会 分類	嚥下 レベル 名 称 例	協立 病院 （猪名川）	市立 川西 病院	ベリ タス 病院	協立 温病 院	第 一 協立 病院	正 善 堂	
1	L3	流動食 濃厚流動食	流動食	流動食	流動食 濃厚流動食	流動食	流動食 濃厚流動食	流動食	
2	Oj	L0 ゼリー食		嚥下I（ゼ リー食）	ゼリー食I	訓練食	ゼリー食		
3	Ot	L3の 一部 とろみ食							
4	Ij	L1・ L2 ソフト食	嚥下A食 ゼリー食	嚥下4 （ソフト食）	ゼリー食II ゼリー食III ゼリー食IV		嚥下食		
5	2-1	L3 ペースト食	嚥下B食 ミキサー食	ミキサー食	嚥下食IV	ミキサー食	ミキサー食	ミキサー食	
6	2-2	L3 ペースト食 既あり					嚥下食		
7	3	L4 種別流動食							
8	4	L4 種別 ペースト食 あんかけ	嚥下C食	7分粥食 きざみあん	嚥下食V 嚥下食VI				
9	4	L4 種別 ペースト食 あんなし	種小粥み	7分きざみ	7分 粥み			全粥食 キザミ	

各施設の嚥下調整食の呼称が一目で分かる



R2.1.20 地域ケア協議会（川西市医師会）にて医療・介護関係者に紹介
⇒ 栄養管理ファイル（栄養情報連携ツール）と併せて活用を依頼
地域包括支援センターとも共有

R1.9.4 川西地区給食研究会にてマップの活用について意見交換を実施
⇒ 栄養士以外の専門職とも共有したほうが良いとの声
嚥下調整食の分類に見直しの必要あり

【取組み③】 在宅介護関係者への研修

[日 時] 令和元年 12月5日（木）15:00～16:30
[テーマ] 在宅高齢者の食支援とフレイル予防
[参加者] 川西市・猪名川町の在宅医療・介護関係者 58名



- ★地域の医療・介護連携の拠点、食支援の拠点と連携して実施
（川西市・猪名川町在宅医療介護・連携支援センター、（医）協和会認定栄養ケアステーション）
- ★在宅高齢者に直接関わる支援者（介護職等）に、フレイル予防の大切さや具体的な食事の工夫を啓発